

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2012-17193(P2012-17193A)

【公開日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2010-156400(P2010-156400)

【国際特許分類】

B 6 6 B 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 3/00 P

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 U

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エレベーターのかご内を撮影するカメラからの映像データを、所定の記憶装置に記録するデータ記録部と、

入力された個人特定情報を既登録情報と照合し、個人特定情報の入力者が所定の第一種登録者及び第二種登録者に該当するか否かを判定する認証部と、

前記認証部の判定結果、及び、再生要求された映像データが撮影された時のエレベーター状態に基づいて、前記記憶装置に記録された映像データの再生表示方法を設定する再生モード判別部と、

を備え、

前記再生モード判別部は、

個人特定情報の入力者が第一種登録者である場合に、再生要求された映像データを所定の表示装置に高精細表示させ、

入力者が第一種登録者及び第二種登録者の何れでもない場合に、映像データの再生表示を禁止し、

入力者が第二種登録者である場合に、エレベーターが保守中或いは無乗車状態の時に撮影された映像データを再生要求された場合は、再生要求された映像データを前記表示装置に高精細表示させ、その他の場合は、再生要求された映像データを前記表示装置にモザイク表示させる

ことを特徴とする監視映像レコーダ装置。

【請求項2】

前記記憶装置に記録された映像データを外部記憶装置に記録するダビング処理部と、を更に備え、

前記データ記録部は、前記カメラからの映像データに所定のオリジナルマークを付加して前記記憶装置に記録し、

前記ダビング処理部は、映像データを前記外部記憶装置に記録する際に、その映像データに付加されたオリジナルマークを削除する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の監視映像レコーダ装置。

【請求項 3】

前記再生モード判別部は、外部記憶装置に記録された映像データを前記表示装置に表示させる時は、

個人特定情報の入力者が第一種登録者である場合に、再生要求された映像データを前記表示装置に高精細表示させ、

入力者が第一種登録者及び第二種登録者の何れでもない場合に、映像データの再生表示を禁止し、

入力者が第二種登録者である場合に、再生要求された映像データを前記表示装置にモザイク表示させる

ことを特徴とする請求項 2 に記載の監視映像レコーダ装置。

【請求項 4】

前記データ記録部は、エレベーターの制御盤から、エレベーターの状態を検出するために必要な所定の制御信号データを取得し、取得した制御信号データを前記カメラからの映像データに関連付けて前記記憶装置に記録し、

前記再生モード判別部は、前記認証部の判定結果、及び、前記記憶装置に記録された制御信号データに基づいて、前記記憶装置に記録された映像データの再生表示方法を設定する

ことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載の監視映像レコーダ装置。

【請求項 5】

前記再生モード判別部によって設定された再生表示方法に基づいて、前記記憶装置に記録された映像データを画像処理し、前記表示装置に表示させる画像処理部と、

を更に備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れかに記載の監視映像レコーダ装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の監視映像レコーダ装置に、所定のネットワークを介して接続された監視映像表示端末であって、

入力された個人特定情報を読み取って前記監視映像レコーダ装置に送信することにより、前記認証部に前記判定を行わせ、前記画像処理部に、画像処理したデータを返信させる認証情報入力部と、

前記画像処理部によって画像処理されたデータを、所定の第二表示装置に表示させる表示処理部と、

を備えたことを特徴とする監視映像表示端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】